広報 ひがしくるめ
平成18年（2006年）2／1号
No.929
発行／東久留米市 編集／企画経営室広報課 〒203-8555 東久留米市本町3-3-1 ☎0424・70・7777（代） ホームページ http://www.city.higashikurume.lg.jp 毎月1日・15日発行

東久留米市長選挙

現職の 野崎重弥氏が再選

投票率は41・77パーセント

（前回比マイナス2・36パーセント）

男性40・29パーセント　女性43・21パーセント

任期満了に伴う「東久留米市長選挙」は、1月15日（日）に投票が行われ、現職の野崎重弥（しげや）氏、新人の君島（きみじま）久康氏の2人の候補者が市民の審判を受けました。

開票は、当日の午後9時からスポーツセンターで行われ、その結果、野崎重弥氏が1万9491票を得て当選し、再選を果たしました。

当日有権者数は9万2212人、投票率は41・77パーセントでした。これは前回の市長選挙（14年1月）の44・13パーセントを2・36パーセント下回っています。

男女別では、男性40・29パーセント、女性43・21パーセントで、前回同様（男性42・86パーセント、女性45・37パーセント）女性の投票率が男性を上回っています。

野崎市長は、1月16日（月）午後1時半、多くの市職員等が出迎える中、当選後初登庁し、女性職員から花束を贈られ、2期目向こう4年間の市政責任者として第一歩を踏み出しました。野崎市政に、皆さんの温かいご支援をお願いします。

多くの市職員等が出迎える中、選挙後初登庁する野崎重弥市長

東久留米市長選挙確定得票数

当	19,491	野崎しげや	(50)
	18,579	きみじま久康	(53)

（無効票 445）

（敬称略）

市長選挙投票区別投票率一覧

投票区	投票所	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%） 男性	女性	平均
1	下里小学校	7,338	2,576	33.37	36.92	35.10
2	第七小学校	7,497	2,903	37.64	39.73	38.72
3	西中学校	5,623	2,168	36.33	40.77	38.56
4	第九小学校	5,013	1,909	36.35	39.77	38.08
5	本村小学校	4,518	1,695	35.25	39.69	37.52
6	久留米中学校	7,074	2,616	37.09	36.88	36.98
7	第一小学校	5,729	2,184	36.60	39.69	38.12
8	南町小学校	6,122	2,131	32.74	36.77	34.81
9	第八小学校	3,629	1,501	40.37	42.39	41.36
10	第三小学校	6,807	2,651	39.10	38.80	38.95
	不在者投票		137	0.11	0.19	0.15
	第10投票区合計	6,807	2,788	40.62	41.28	40.96
11	第五小学校	3,860	1,293	33.62	33.38	33.50
12	南中学校	4,298	1,709	39.77	39.76	39.76
13	浅間町地区センター	4,621	1,715	35.24	39.02	37.11
14	成美教育文化会館	7,968	2,994	37.12	38.01	37.58
15	第二小学校	4,518	1,734	37.53	39.18	38.38
16	金山学童保育所	3,284	1,348	41.20	40.90	41.05
17	東久留米団地集会所	1,006	483	46.62	49.25	48.01
18	第四小学校	3,307	1,351	40.22	41.52	40.85
期日前投票			3,417	3.29	4.11	3.71
合計・平均		92,212	38,515	40.29	43.21	41.77

分権時代に対応する 市政構造改革を推進します

市長　野崎重弥

去る1月15日執行の東久留米市長選挙におきまして、多くの市民の皆様のご支持により、再選を果たすことができました。

このことは、これまでの四年間、とりわけ財政危機宣言発表後の、行政改革・財政改革を市民の皆様が高くご評価くださり、今後も構造改革を進めるべきとの判断を頂いたものと受け止めています。わが市を取り巻く状況の厳しさは今後も続くと思われますが、正直に真正面から市政に取り組んで参ります。

さて、一期目の市政は、三事業（中学校給食・保健福祉総合センター・中央町地区センター）を実現するとともに、行政評価制度を導入し、全庁的視点から施策の見直しを行いました。さらに、市政運営に経営的視点を加え、民間活力の導入も行いました。この一方で、職員の給与制度を年齢給から職務給へと改革し、また四年間で職員を104名削減するなど、大胆な市政構造改革を実施して参りました。

しかし、こうした改革を行っても、なお財政的に厳しい状況が続き、三位一体改革等に伴う国・都における制度変更がさまざまな形で市に影響を及ぼしています。このような状況の中でも、地方公共団体として、市は時代が要請する多様な行政サービスを的確に市民の皆様に提供しなければなりません。

今後も、市政構造改革を進めながら、財政基盤の確立を図りつつ、高齢者施策、子育て支援、安全・安心を市政の中心に置き、選ばれ続けるまち東久留米を目指し、市政運営に当たって参ります。

市民の皆様のご理解・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

《略歴》

野崎重弥（のざきしげや）

昭和30年1月21日生▽日大法学部卒▽元市議会議員、元東久留米市職員、会社役員、保護司▽現住所・東久留米市柳窪